

エコパルなごや

秋号
VOL.64

かんきょうをたのしく学ぶ

特集 グリーンコンシューマーって何だろう

グリーンコンシューマー (Green Consumer) とは直訳すると「^{ちよくやく}緑の消費者」。

この「^{かんきょう}緑」は、「^{かんきょう}環境にやさしい」を意味しています。

「^{かんきょう}環境にいいことをしたいけど、何からしていいのかわからない」という方が多いと思います。

「なるべく車を使わない」「^{かんきょう}電気を付けっぱなしにしない」など色々ありますが、

今回はお買い物を通じて^{かんきょう}環境を考えてみましょう。



いろいろな話題^{とど}お届けします。

特集 グリーンコンシューマーって何だろう

エコパルNEWS 特別ワークショップ、^{まかくてんじ}マンスリー^{しょうかい}企画展示の紹介

^{かんきょう}なごや環境大学 「^{かんきょう}なごや環境学2012」「^{あいぎ}愛岐の里山^{ぼしゅう}たいけん隊」の募集

グリーンコンシューマーって何だろう

グリーンコンシューマーの歴史

「グリーンコンシューマー」という言葉が使われるようになったのは、1988年9月にイギリスで「グリーンコンシューマー・ガイド」が出版されてからと言われています。

「グリーンコンシューマー・ガイド」は、日常的に購入している商品が、どこでどのように作られているか、環境にどのような影響を与えるかなどを紹介した本です。当時のヨーロッパは、チェルノブイリ原発事故をはじめ、ライン川の汚染や酸性雨の深刻化などの影響で、世界中で環境問題が関心を集めた時期でした。

そういった背景もあり、「グリーンコンシューマー」という言葉はまたたく間に広がり、環境に配慮した行動をする人たちが増えました。

現在の日本のエネルギー問題もまた、わたしたちの生活に直結する問題です。普段のお買い物を見直して、環境にやさしい生活を送りましょう。

グリーンコンシューマーってどんな人のことを言うのだから

グリーンコンシューマーとは具体的に何を指すのかというと、「グリーンコンシューマーネットワーク」が発刊した『地球にやさしい買い物ガイド』に「グリーンコンシューマーの十原則」というものがあります。

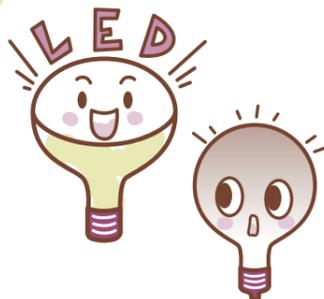
グリーンコンシューマーの十原則

出典：グリーンコンシューマー全国ネットワーク出版「グリーンコンシューマーになる買い物ガイド」

2 長寿命

長く使えるものを選ぶ

商品はいつかすべてごみになります。ごみになるまでの時間が長いもの、修理しながら使えるものを選びましょう。



4 省資源・省エネ

資源・エネルギー消費の少ないものを選ぶ

ゴミを燃やすにもエネルギーがかかります。ゴミを買わず、資源・エネルギーを無駄にしない商品を選びましょう。



1 適量購入

必要なものを必要な量だけ買う

食費のうち手付かずで捨てられている割合が約1割とも言われています。買い物の前に冷蔵庫を点検してから、足りない物だけ買うようにしましょう。



3 省包装

包装の少ないもの、再使用できる容器を選ぶ

詰め替えが出来る容器を選んだり、過剰包装はやめ、出来るだけレジ袋も使わずにマイバッグを持ちましょう。

5 化学物質

環境や健康への影響の少ないものを選ぶ

科学的に合成された農薬や化学肥料を使うことは人にも土にも悪影響です。出来る限り農薬や化学肥料を使っていない商品を選びましょう。



8 フェアトレード

つくる人に公正な分配が保障されたものを選ぶ

フェアトレード商品を購入することによって、発展途上国が継続して生産活動を行うことができます。



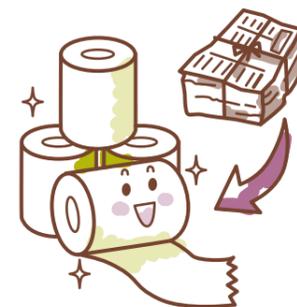
■フェアトレード=公正貿易
発展途上国で創られた作物や製品を適正な価格で継続的に取引することで、仕事の機会を創り出し、公平な対価で継続的に取引することによって、持続的に経済的な自立ができるよう促す仕組み。



9 リサイクル

リサイクルされたもの、リサイクルされるものを選ぶ

リデュース(削減)もリユース(再使用)もできないものの最終手段がリサイクルです。リサイクル商品を買って3Rを回していきましょう。



10 企業姿勢

環境問題に熱心なメーカーや店を選ぶ

これまでの9つを実践しているお店を探してみましょう。環境に配慮した会社が利益を上げると、さらに取り組みを強めていくことになります。

こうして見ると、たいいていの人が日常の買い物で心がけていることのようにも思えます。でも実際にやってみようとなると、これがなかなか難しいことなのです。

どういった商品が、資源・エネルギー消費の少ないものなのか、自然や生物への影響が少ないものかみなさんご存知でしょうか。買い物をするときに値段や安全性は考えるけど、「フェアトレード」の視点で商品を見たりしているでしょうか。

このようにグリーンコンシューマーは、日常生活の中で使うものについて、買ったり使ったり捨てたりすることで環境にどのような影響があるのか、一通り知っていなければなりません。日々の学習が必要なのです。

6 自然保護

自然や生物への影響の少ないものを選ぶ

生き物は人間だけではありません。自然や生物に対してもやさしい商品を選びましょう。

7 地産地消

近くで生産されたものを選ぶ

商品の遠距離輸送は、多くのエネルギーを使います。食材ともなれば、近くで生産されたものだと新鮮で栄養も豊富です。

環境にやさしい商品を選ぶには？

グリーンコンシューマーへの第一歩として、環境にやさしいマークや表示を知っておくということが大事です。見たことがあってもどういう意味なのか考えてみたことはあるでしょうか。いくつか紹介してみましょう。

エコマーク

環境保全に役立つと認められる商品に付けられています。商品の種類ごとに認定基準が設定されています。



グリーンマーク

古紙再生利用製品の使用による、資源・エネルギーの節約、森林保護などの推進が目的。



グリーンエネルギーマーク

製造時に使用する電力を、風力・太陽光などの自然の力によって作られた商品。



レインフォレスト・アライアンス

熱帯雨林で生産される農産物（コーヒー・カカオ・バナナ等）を対象に、それらを生産する過程において遵守すべき厳しい基準を満たした商品。



オーガニック・コットン製品

3年間農薬や化学肥料を使わないで栽培された農地で、農薬や化学肥料を使わないで生産された綿花を使った製品。



あなたも今日からグリーンコンシューマー

名古屋市内には、環境にやさしい商品を取り扱う店やリサイクルショップなどが続々と増えています。レジ袋の市内全域有料化も大都市圏では全国初の試みでしたが、今ではレジ袋辞退率が名古屋市民の約9割と言われています。

環境のために何かしたいけど何をしたいのかわからない方、まずは環境にやさしい商品を選ぶことから始めてみませんか。



エコパルNEWS

特別ワークショップ

エコパルなごやには、この他にも面白い体験型プログラムがたくさんあるよ。あそびにきてね!



自然観察会と ネイチャークラフト教室

日時 10月14日(日)、21日(日)
10:00~15:00

定員 各20名

参加費 300円

内容 白川公園での自然観察の後、木の実や竹を使ってクラフト作りにチャレンジ!



木の实を使った クリスマスリース作り

日時 11月17日(土) 13:30~15:00

定員 24名

参加費 300円

内容 山崎川周辺で採れた松ぼっくりやどんぐりを使ってクリスマスリースを作ります。



自然木を使った工作教室

日時 12月9日(日)

①11:20~11:50 ②13:20~13:50
③14:20~14:50

定員 各20名

参加費 500円

内容 自然の材料を使ってクリスマスにぴったりの「トナカイ」を作ります。



お申し込み

TEL・FAX・E-mailのいずれかで、

「エコパルなごや」までお申し込みください。

TEL 052-223-1066

FAX 052-223-4199

E-mail a2231066@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

マンスリー企画展示

企業やNPO団体の環境問題に関する取り組みを紹介する展示コーナーです。月ごとに展示内容が変わりますので、毎月様々な展示をお楽しみいただけます。

10月 テーマ 名古屋自然観察会30年の歩み

【出展者】名古屋自然観察会

【内容】名古屋自然観察会の歴史と、現在の活動や名古屋の自然などを紹介します。

11月 テーマ 山崎川の生き物たちと子どもたち

【出展者】山崎川グリーンマップ

【内容】山崎川周辺に住む子どもたちが行っている在来種を守る活動と生き物を紹介します。



なごや環境学 2012

3.11後、エネルギーとすまいを取り巻く環境は大きく変わろうとしています。今、直面している課題を整理し、課題解決に向けた各々の役割について、専門家のお話を聞いて、一緒に考えてみませんか。

《会場》
伏見ライフ
プラザ内

《受講料》
各回
300円

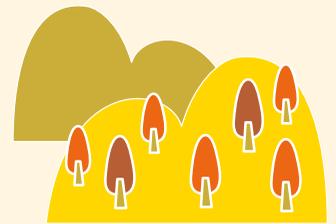
《定員》
各50名

	日にち	テーマ
第1回	10月6日(土)	これからのエネルギーとすまいを考える
第2回	10月20日(土)	省エネ法とすまい
第3回	11月10日(土)	太陽エネルギーとすまい
第4回	11月24日(土)	ゼロエネルギー住宅
第5回	12月8日(土)	エネルギーとまちづくり
第6回	3月16日(土)	これからのエネルギーとすまいを考える



バスに乗って「里山」へ出かけます。
秋の里山にはどんな生き物や、秋の実りが待っているのでしょうか。

- 日時 11月10日(土)
9:00~16:30
- 場所 名古屋市愛岐処分場
- 受講料 1,000円
- 定員 30名(10月11日より先着順)



他にも環境について学べる施設があるよ!

名古屋市リサイクル推進センター

名古屋市リサイクル推進センターは、不用品の交換をすすめたり、3R(リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再生利用)に関する図書を出したり、みなさんが3Rを進めるためのいろいろな手助けをしています。

所在地 〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目11-15先 地下鉄上前津地下街
 アクセス 地下鉄「上前津」駅 名城線北改札口を出てすぐ
 電話 052-251-5300 FAX052-251-5308
 E-mail recycle@ppp.bekkoame.ne.jp
 URL http://www.nagoya-recycle.or.jp/
 開館時間 午前10時~午後6時
 休館日 毎週月曜日、年末年始(12月29日~1月3日)

名古屋市環境学習センター エコパルなごや

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号
 伏見ライフプラザ13階(地下鉄東山線・鶴舞線の伏見駅6番出口徒歩5分)
 ■開館時間/午前9時30分~午後5時 ■入館料/無料
 ■休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)
 年末年始(12月29日~1月3日)

お問い合わせ TEL 052-223-1066 FAX 052-223-4199
<http://www.ecopal.city.nagoya.jp/> E-mail: a2231066@kankyokuyoku.city.nagoya.lg.jp

